

ナガエツルノゲイトウ分布状況（速報版）について

令和6年12月27日

千葉県環境生活部自然保護課

自然保護課生物多様性センターでは、令和5～6年度に特定外来生物「ナガエツルノゲイトウ」の分布調査を実施しています。

この度、令和6年度に実施した現地調査において確認された分布状況に基づき、別紙地図（1kmメッシュ）を作成しました。（※詳細版（500mメッシュ）は令和7年2月公開予定）分布が確認された地点については、近隣及び下流域も含め、繁茂や分布拡大リスクが懸念されます。

関係機関におかれましては、本地図を今後の防除活動の参考資料として活用していただきませう、お願いします。

1 現地調査について

・実施期間：令和6年8～10月

・調査方法：

県全域を対象に、以下の①②の手順により本種の分布の可能性が高いと推定された地点で現地調査を実施し、有無を確認しました。

① 衛星画像を解析し、本種の生育可能性があると推定された全地点

② 下記調査（令和5～6年度実施）により、これまでに本種の分布が確認された全地点

・関係機関（国、県、市町村等）へのアンケート結果（令和6年2月及び7月に実施）

・県による調査（環境生活部、農林水産部、県土整備部）

2 本地図の活用について

本地図では、現地調査において分布が確認された地点のあるメッシュを赤色で表示しました。

調査後の駆除や流出等により、現在は分布していない地点が含まれている可能性があります。根や茎の残存部分などから再繁茂する可能性もあるので注意が必要です。

また、現在は繁茂しているにも関わらず表示のない地点は、調査後に偶発的な事情により繁茂したなど、調査時点では分布が確認されていなかった可能性があります。

分布地点が河川の場合は下流域、水路等の場合は周辺への流出が懸念されます。

今後のモニタリングや防除にあたって、本地図を参考にしてください。

※ 本調査結果を踏まえた詳細な分布状況（500mメッシュによる調査時点の状況及び累積分布状況）を示した地図は、令和7年2月中に公表予定です。

3 駆除にあたっての留意点

・分布域の拡大防止のためには、初期段階での速やかな駆除が最も効率が良い方法です。

・すでに定着し分布が広がっている地域では、甚大な影響や被害を引き起こす可能性がある箇所を選定し、優先順位をつけて対策を進めていくことが重要です。

4 参考

○駆除の方法や普及啓発に使用できる資料

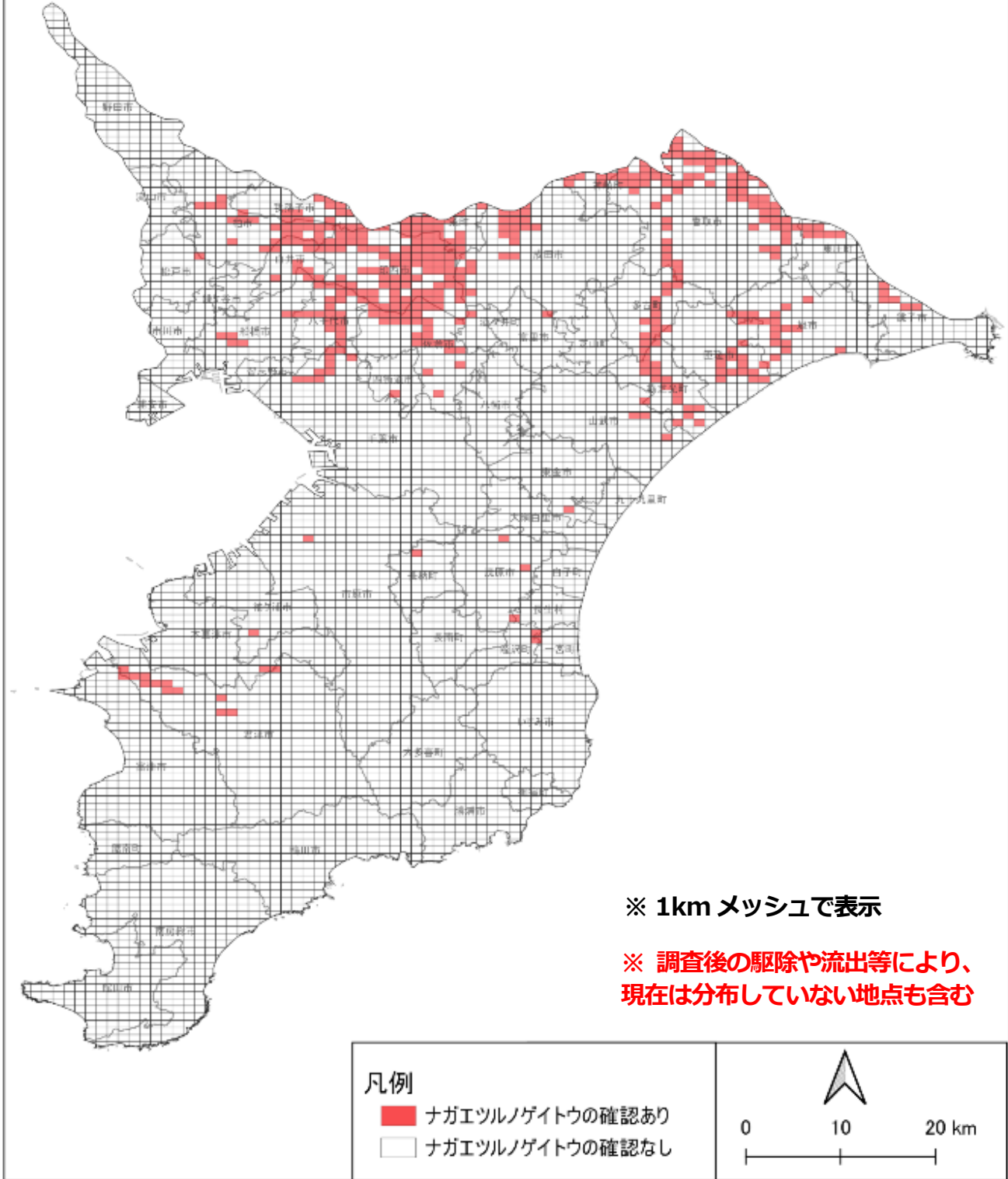
千葉県 自然保護課 生物多様性センター（刊行物のページ）

URL： <https://www.bdcchiba.jp/publication>



- ・特定外来生物 ナガエツルノゲイトウにご注意ください リーフレット
（令和6年3月発行）（PDF ファイル：3.0 MB）
- ・特定外来生物 ナガエツルノゲイトウにご注意ください ポスター
（令和6年3月発行）（PDF ファイル：7.0 MB）

ナガエツルノゲイトウ分布状況について（速報版・令和6年12月発表）



現地調査（令和6年度）によって確認されたナガエツルノゲイトウの分布

※ 現地調査は令和6年8～10月にかけて順次実施